



NEWSLETTER FOR THE JAPANESE
ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH
(JADR)

国際歯科研究学会日本部会 会 報

1990 - II

9 月

I. 1990年第2回理事会

日 時：1990年4月23日（月）2：00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部外来事務棟3F会議室

出席者：大橋会長、見明副会長、常光前会長、池田、石川、太田、岡田、小林、二階、
堀内各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長

（オブザーバー：本部 Young Investigator's Award Committee 委員 山田正教授）

報告事項

1. 第68回 IADR 大会（シンシナチ）理事会ならびに総会に関する報告

本年3月5、6日シンシナチに於て開催された IADR 理事会の議事要旨が大橋会長ならびに佐々木事務局長より以下のように報告された。なおこの理事会には砂田今男日本歯科医学学会長もオブザーバーとして出席された。

1) IADR 総会開催地については、これまでの方式を変えて、北アメリカ、ヨーロッパ以外の地区で総会の機会を増すような方式に変わった。

1991年のアカプルコの総会は、予定通り開催することになった。

（1991年4月17日～21日）

1995年のシンガポールの総会については、東南アジア支部より JADR などに協力要請があった。

1997年にはカナダ、バンクーバーで行われる予定である。

1998年にはフランス、ニースが候補地に挙げられていたが、イスラエルも立候補を表明した。

2001年の開催地として、東京の立候補を JADR から正式に表明した。

そしてすべての会員が参加できるという公的保証と会場候補地の英文パンフレットを配布した。

2) IADR 会則改正により、明かな学問的不正行為および学会会則違反の場合には、退会の処置をとることができるようになった。

3) 1991年1月より会費値上げが決まった。

年会費 雑誌なし 30ドル (現行25ドルから5ドル値上げ)

雑誌購読 71ドル (66ドルから5ドル値上げ)

総会参加費 135ドル (125ドルから10ドル値上げ)

非会員の参加費 255ドル (235ドルから20ドル値上げ)

非会員の学生 60ドル (35ドルから25ドル値上げ)

4) IADR 副会長候補者が以下の3名に決まり、投票が行われることになった。

Stephen H.W. Wei (香港大学)

Jason Tanzer (コネチカット大学)

Daniel van Steenberghe (ベルギー、ルーヴァン大学)

5) Science Award の Biological Minerarization 部門で

日本歯科大学 須賀昭一教授が授賞され、開会式で表彰をうけた。

6) IADR 各種委員会の新任委員として、日本部会から以下の方々が任命された。

FDI Program Advice Committee 東京歯科大 高添一郎教授

Long-Range Meeting Planning Committee 東北大 堀内博教授

Nominating Committee 大阪大 丸山剛郎教授

Joint IADR / AADR Publication Review Committee

および Publication committee(AADR) 日本歯科大 須賀昭一教授

Research in Oral Biology Award Committee 東医歯大 総山孝雄名誉教授

このほか新しい賞として

Salivary Research Award, Prothodontics and Implant Award,

Pulp Biology and Experimental Pathology Research Award

の制定が承認された。

7) 歯学研究に関連する社会的な問題として、いわゆる Animal Right Activist に対する非難声明が採択され、また総会の前にフッ化物の毒性に関する特別シンポジウムが開催された。

8) 総会は3月7~11日、シンシナチコンベンションセンターで開催され、参加者約3,500名、

発表演題数 2,220 で、これまでの総会で最大であった。日本部会からもかなり多数の参加があった。運営方法の変更によりポスターによる発表が増やされた。また、Luncheon and Learning の講師として、日本部会から小椋英夫助教授（日歯大新潟歯学部）が講演された。

2. 第38回 JADR 大会（仙台）の準備状況について

東北大学歯学部堀内博準備委員長より、第38回 JADR 大会の準備状況ならびに日程案について説明があり、その大綱が以下のように決定した。

参加申込書類発送：5月下旬、演題申込締切：8月25日、抄録申込締切：9月14日、

発表日時の通知：10月初旬、抄録集の発送：11月初旬

会期：1990年11月29日（木）、30日（金）

会場：仙台市戦災復興記念館

理事会：11月28日

ビジネス・セッション：11月29日

懇親会：11月29日、仙台東急ホテル

3. その他

1) 見明副会長（渉外担当）より、第38回 JADR 大会の日本歯科医師会生涯研修事業認定のための申請書を提出した旨報告があった。

2) 長尾会計担当理事より、本年度中に新しい名簿を作成する予定である旨報告があった。

協議事項

1. 2001年度 IADR 総会の東京誘致について

3月のシンシナチの理事会で2001年度の IADR 総会開催地として、東京の立候補を公式に表明したが、今後はこの実現のために、関係諸団体の協賛を求めるなどの準備活動を行うことが了承された。

2. 次期事務局長候補者の選挙について

1991年度以降の事務局長候補者として、理事会では東京歯大高江洲義矩教授が推薦され、全会員による選挙を、郵便投票により5月あるいは6月に行うことになった。投票の管理は事務局長、立会人は見明副会長に依頼することになった。

3. 第38回 JADR 大会（仙台）への韓国支部役員の招待と第9回 IADR 韓国支部総会への JADR 代表の出席について

JADR と IADR 韓国支部との友好関係を引き続き維持する目的で、第38回 JADR 大会（仙台）に韓国支部の役員1名を招待し、特別講演を依頼することになった。また、JADR 代表が第9回 IADR 韓国支部総会に出席する計画を立てることになった。

4. 第69回 IADR 総会（アカプルコ）での日本部会からの Hatton Award 応募者の選考方

法について

JADR からの Hatton Award の推薦枠は 3 名であるが、一般公募を行い、候補者を選ぶための選考委員会を組織することになった。

5. 第39回 JADR 総会について

1991年度第39回 JADR 総会は、大阪歯科大学太田義邦教授に準備委員長をお願いして、大阪で開催することに決まった。

6. その他

会長より IADR 東南アジア支部会長から1995年 IADR シンガポール総会の開催について再度協力要請の手紙があった旨の報告があり、その協力の具体的な内容についてはあらためて問い合わせることになった。

II. 1990年第3回理事会

日 時：1990年7月16日（月）2：00pm

場 所：東京医科歯科大学歯学部外来事務棟2F会議室

出席者：大橋会長、池田、石川、太田、岡田、小林、二階、堀内各理事、長尾会計担当理事、佐々木事務局長（欠席：常光前会長、見明副会長）

報告事項

1. 第69回 IADR 大会（アカプルコ）について

事務局長より、1991年4月17日～21日に開催される第69回 IADR 大会（アカプルコ）の理事会には次期会長、事務局長の出席の予定と、オブザーバーとして日本歯科医学会長の出席を要請することが了承された。

大会登録費は、以下のように値上げされる予定であるとの報告があった。

総会参加費	150ドル
同非会員の場合	270ドル
学生会員参加費	35ドル
非会員の学生	75ドル

2. 次期事務局長候補者の選挙結果について

1991年度以降の事務局長候補者の選挙は、会員の郵便投票により行われ（6月16日付締切、投票総数656票）、6月21日見明副会長立会いのもとに開票され、高江洲義矩教授（東京歯科大）の当選が事務局長より報告された。第38回 JADR 総会で承認を求めることになった。

また、1991年度以降の他の役員の選考も進めることになった。

3. その他

名簿作成のための葉書を会員宛に発送したことが報告された。

協議事項

1. 第38回 JADR 大会（仙台）の準備について

堀内博準備委員長（東北大学歯学部）より、第38回 JADR 大会の準備状況について説明があり、参加申込書類の発送、演題申込受付など予定通り進行中であることが報告された。

また、本学会は日本歯科医師会の生涯研修事業に認定された旨報告があった。

2. 第69回 IADR 総会（アカプルコ）での日本部会からの Hatton Award 応募者の選出について

事務局長より7月2日付で全会員に Hatton Award 賞候補者募集の書類を発送した旨の報告があり、割当枠の3名を越えた応募者があった場合には、選考委員会を設置して、ADR からの推薦者を決定することになった。

3. 第38回 JADR 大会（仙台）への韓国支部役員の招待および第9回 IADR 韓国支部総会への JADR 代表の出席について

事務局長より林昌潤 IADR 韓国支部会長宛に役員1名の招待講演を依頼する旨の書状を送ったことが報告された。また、JADR からの訪韓候補者の選定を進めることになった。

・ 1991年度第39回 JADR 大会について

太田義邦準備委員長（大阪歯科大学教授）から、第39回 JADR 大会は、1991年12月5日（木）、6日（金）の両日に、大阪で開催したい旨の発言があり、了承された。

・ 名誉会員推薦の件

田熊庄三郎東京歯科大名誉教授（元 JADR 会長）を名誉会員に推薦することが決まった。

・ IADR 歯周病グループコンファレンスについて

岡田理事から IADR 歯周病グループコンファレンスが1991年に大阪で開催される旨の紹介があ JADR はこれを支援することが決まった。

以上

第12回 ICOB についてのお知らせ

第12回 ICOB(International Conference on Oral Biology)が1991年7月14～16日、ギリシャ、アテネのヒルトンホテルで開催されます。主題は” Modern Concepts in the Diagnosis of Oral Disease ”で、齶蝕、TMD、歯周病、インプラント、軟組織疾患など広範囲の領域を含むもので、口演およびポスターによる発表が予定されております。

抄録の締切は、1990年12月1日です。応募要領、抄録用紙その他の資料は、ワシントン本部に請求して下さい。

会費の納入についてのお願い

日本支部会費（年額3,000円）については、こちらに記録がありますが、IADR本部会費については把握できず、ワシントン本部からまとめて未納者への督促が事務局の方へ度々参ります。お忘れないう納入をお願いします。

なお、本部年会費については、来年度（1991年）から値上げの予定で、

一般会員 30ドル（学生会員 5ドル、これまで通り）

雑誌購読会員 71ドル（同 21ドル、これまで通り）になります。

本部年会費、総会参加登録費などの支払いをドルの現金で送金するのは、絶対にやめて下さい。小切手でも支払えますが、安全で、手数料や手間がかからないクレジットカード（Visa CardかMastercard）によるお支払いをお薦めします。

なお、日本部会年会費は郵便振替によってお払い込み下さい。

学会発表の内容のオリジナリティに関するご注意

IADR年次総会学術大会での口頭およびポスター発表の内容は、すべてオリジナルなものであることが条件となっています。その内容は投稿中のものを含めて、他の学会（JADR総会を含む）や学術雑誌等に発表していないものに限ります。実際に、第68回シンシナチ大会で発表されたものの中に、その内容が某誌に掲載された論文と全く同じであった例が問題となりました。

IADR会則の改正により、明かな学問的不正行為または学会会則違反と判定されますと、次回の発表を禁止されたり、さらには退会の罰則を受ける可能性もありますので、十分にご注意下さい。

THE JAPANESE ASSOCIATION FOR DENTAL RESEARCH

国際歯科研究学会日本部会事務局

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部生化学教室内

電話 (03)813-6111 内線 5125・5126